

やさいレポート (令和4年7月号)



キャベツ



発行日：令和4年7月8日

1. 卸売価格の動向

○93 円/kg (7月5日)

➢ 平年比：118%

○7月の価格見通し

安値水準で推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○175 円/kg (6月全国平均)

➢ 前月比：78%、平年比：116%

➢ 東京：208 円 (1玉)

➢ 大阪：258 円 (1玉)

○特売店舗数/調査店舗数

➢ 東京：9/20 (前月 7/20)

➢ 大阪：4/10 (前月 3/10)

(機構調べ)

3. 家計消費動向

○503 g/人 (5月全国平均)

➢ 前月比 105%

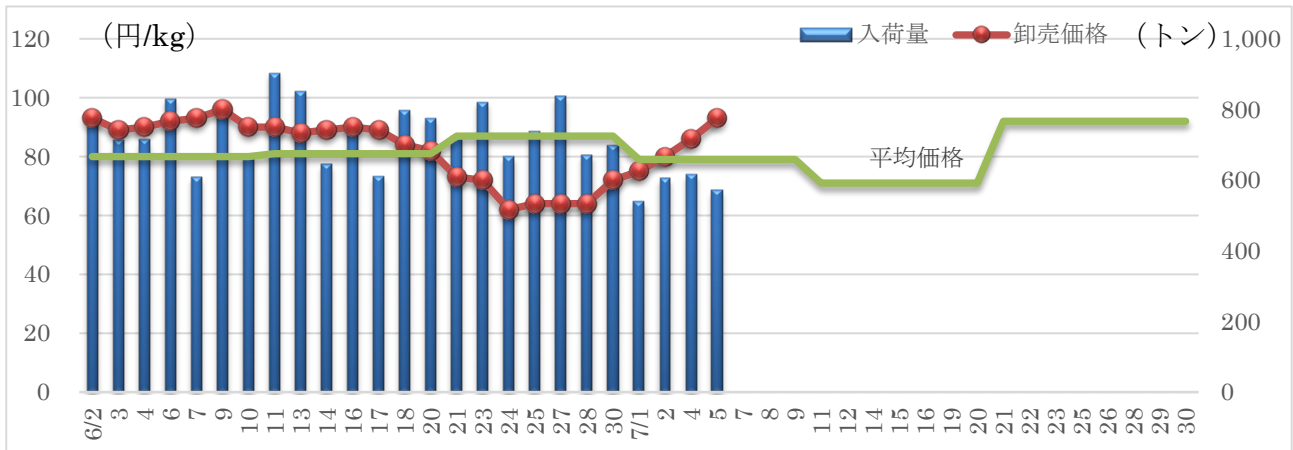
➢ 前年同月比：80%

○6,338 g/人 (2021 年年間)

➢ 前年比：103%

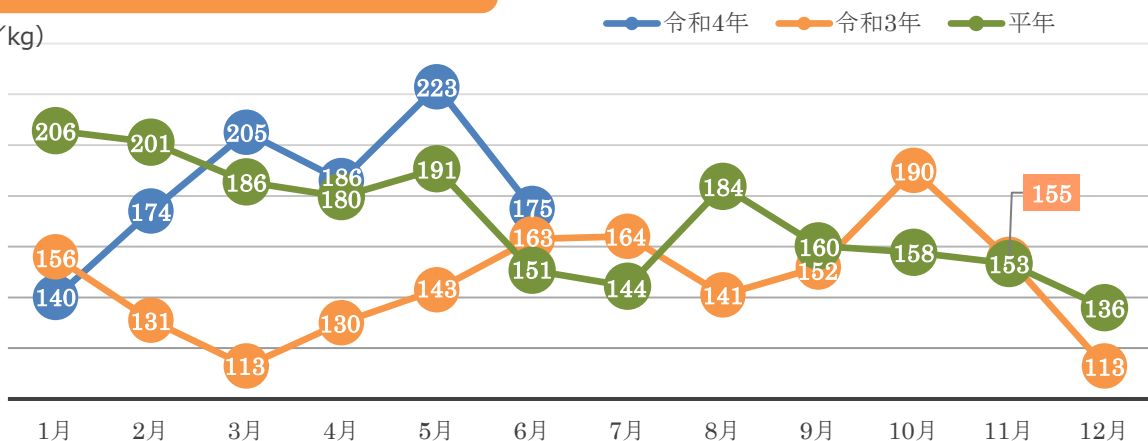
(総務省統計局家計調査)

4. キャベツの卸売価格と入荷量の推移 (東京都中央卸売市場)



5. キャベツの小売価格の推移

(円/kg)



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
北海道南幌町 (6/23)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
岩手県いわて (6/7)	増加	-	平年並み	-
群馬県嬬恋村 (6/15)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み

※特記ない場合は平年比。()内は調査日。

(機構調べ)



群馬県嬬恋村：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報 (7/2~7/29)

	週別の天候
7/2~7/8	北・東・西日本では、高気圧に覆われやすい時期があるため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。沖縄・奄美では、湿った空気の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
7/9~7/15	北・東・西日本では、高気圧に覆われやすく、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
7/16~7/29	北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。東・西日本と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
	太平洋側		少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
東日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
	太平洋側		少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
西日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み
	太平洋側		少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み

(気象庁1か月予報)

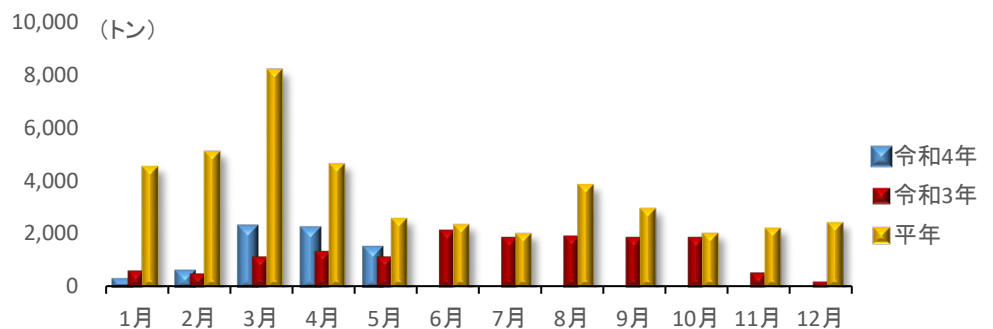
8. 輸入動向 (生鮮キャベツ)

○1,359トン (5月輸入量)

➢ 前年同月比：127%

○輸入先国ベスト3

1位 中国 1,352トン
2位 米国 7トン



(財務省貿易統計)

9. 一口メモ

6月は、千葉産などの平坦地から、群馬産の準高冷地に産地が切り替わってきましたが、大きな入荷量の伸びもなく、価格は中旬まで平年を上回りましたが、下旬に入ると全国的に真夏のような気温となり、需要が伸び悩んできたことで価格は下げに転じました。

7月は、群馬産の準高冷地を中心に、肥大、結球が順調に進むことで安定した市場入荷量となり、価格は安値の見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793